

# 八学大連敗代表逃す

## 明治神宮野球大会東北地区代表決定戦

明治神宮野球大会東北「か夢球場」で行われた。2地区代表決定戦の決勝したチームが明治神宮勝が23日、弘前市のはる大会の出場権を得るが、



【決勝第2試合・八戸学院大―富士大】1回表八学大無死一、三塁、平尾の右犠飛で森本が生還し先制する。捕手坂本はるか夢

1勝のアドバンテージがあった八戸学院大は富士大に逆転負けの2連敗を喫し、出場権を逃した。八学大は第1試合、1点を追う三回、小林の左越え2点本塁打で勝ち越しに成功した。しかしその裏に同点に追いつかれると、2番手で登板した阿部が四回に4失点して突き放された。富士大は、八回から救援した角田楓斗(東奥義塾出)が被安打ゼロで試合を締め

た。第2試合は、八学大が初回無死一、三塁から平尾の右犠飛で先制した。得点はこれだけ。散発の5安打と打線がつながらなかった。先発した三田は三回に2点適時三塁打を浴びて逆転を許し

た。富士大は先発の角田が5回1失点の好投を見せるなど投手陣が安定した。明治神宮大会は11月15〜20日に行われる。(吉田希望)

### 連投制球甘く

### 三田 逆転許す

決勝第2試合に先発した八学大の三田(浦和実業)は、前日に4回を投げており「腕が壊れてもいいと思って投げたが、浮いた変化球を打たれ

た。大事な試合を任せてもらったのに申し訳ない」と肩を落とした。両チームとも2日間の連戦になるはずだったが、雨の影響で富士大は中1日空き、八学大は2日間で3試合を戦った。2連投の投手も多く、決勝の2戦はいずれも序盤

にリードしながらも、投手陣が踏ん張りきれなかった。正村監督は「三田、坂主(作新学院出)の4年生が頑張って投げたが、序盤の点だけでは勝てない。速い球に対応できず追加点を取れなかった」と話した。